



浦上 彰
リョービ
取締役社長

愛車とともに過ごした時間

私は自動車が好きです。乗って楽しむのはもちろん、時間があれば多少の整備は自分で行います。

歴代の愛車の中で思い出深いのは、1985年ごろに発売されたMAZDAのファミリアです。当時の世界ラリー選手権(WRC)にも参戦したモデルということで、大変気に入っていました。WRCといえば、今でも日本メーカーの車両も参加していますが、バイオ燃料とハイブリッドなどルールは変わり、車種ももちろん変わっています。隔世の感がありますが、変わらず気になります。

写真は、22歳ごろ、愛車のファミリアと。当時の私は、砂利道や泥道、未舗装の山道などを好んで走行し、ラリー車のものまねであちこち手を入れながら楽しんでいました。

かつて愛読していたモータースポーツ雑誌『プレイドライ

ブ』には、宝探しゲームのような懸賞問題がありました。ラリーで使うようなコマ図(主な交差点や分岐点、目標物などの略図)でルートが示され、ところどころに隠されたクイズの答えを求めて車で走り回ることを時折していました。

他にも、神奈川方面の山道で夜間走行を楽しんだこと。北海道でガス欠になって、携帯電話もない当時、冷や汗をかいたこと。この写真を見ながら、無鉄砲で若かったころを懐かしく思い出します。

今ではなかなかいじれる車もなく、時間も場所も持ち合わせていませんし、何よりも身体能力が低下しているので以前のようなことはできません。しかし、これからもワクワクする気持ちや集中して物事に取り組むことを大切に、日々を過ごしていきたいと思います。

